

第1回総合教育会議の結果について

1 会議における主な意見

【基本理念】

- ・教育大綱は、学校現場に浸透してきているので、今後は、学校だけでなく保護者や保育園などにも広げていく必要がある。
- ・個人の幸せだけでなく、他人や社会の幸せも創り出していけるということが大切である、という基本理念の趣旨が正しく伝わるようにしたらどうか。
- ・幸せの中身には社会貢献も含まれていることを伝えるために、基本理念の趣旨の説明書きを加えた方がよい。

【基本方針1】

- ・「協働」という言葉は、異なる個性を持つ者が互いの良さを出し合いながら新しい価値あるものを創り出していくという意味で、これからの社会には必要な精神であるため、教育大綱に「協働」を盛り込むことには意味がある。

【基本方針2】

- ・全国に先駆けて子育て支援から学校教育まで一貫して取り組んでいる長岡市の特色を、より鮮明に出した方針になっている。
- ・現行のように、子育て支援と教育を並列するのではなく、この方針は教育であるということを明確に示したものである。

【基本方針3】

- ・教育大綱を保護者にも浸透させていく中で、「オール長岡」は、一般市民にも分かりやすい言葉なのか気になる。
- ・スポーツ少年団の指導など、地域でも子どものためにできることはあるので、みんなが教育に参加するという意味合いから、「オール長岡」という言葉はしっくりくると思う。
- ・「生き抜く」という言葉は、先に厳しい世界が待っているということが前提になっているが、子どもには、明るい未来が待っていると教えた方がよいのではないか。
- ・新しい「熱中！感動！夢づくり教育」でも、生き抜く力を育むことができる能力を作ることを大きな目標としており、戦争、震災を経験した長岡に住んでいる子どもにとって、「生き抜く」という言葉はふさわしいと考えている。
- ・「米百俵の精神」には、「生き抜く」という要素も含まれており、「生き抜く」という言葉は、長岡にピッタリな言葉であると思う。
- ・子どもの人格ができてくる小学校高学年から中学生の時期に、志を立てることや生き抜くことについてメッセージを送ることは重要である。
- ・「生き抜く子どもになってほしい」というのは、どんな苦難にも耐えていく子どもを育てたいという「不死鳥のまち長岡」の魂である。

【基本方針4】

- ・この「子育て支援」についての方針があるのが、長岡市の教育大綱の特徴である。
- ・長岡市は、県内に誇れるほど子育て支援が充実しており、それをより強化するという方針になっているところがいい。

【基本方針5】

- ・ICT環境の充実を図ることにより、子どもたちの学びが進むのであれば、積極的に投資を行う意味があると考えている。
- ・ICT機器の導入は、時代のニーズに即した新しい授業改革であり、時間をかけてもぜひチャレンジしてほしい。

2 意見を踏まえた変更点

(1) 基本理念

基本理念の趣旨を追記

子どもたち一人ひとりの個性が輝き、幸せを創り出していける教育の推進

(趣旨) 一人ひとりの子どもたちの中にある良さや可能性を引き出し、自分の幸せだけでなく、他人の幸せも考えて、世のため人のために行動できる子どもを育てる教育を推進する。

(2) 基本方針4

文言の一部削除

(変更前) ○ 一人ひとりの子どもや保護者に丁寧に寄り添い、多様なニーズに対応する支援を行う

(変更後) ○ 一人ひとりの子どもや保護者に寄り添い、多様なニーズに対応する支援を行う